

令和2年4月30日

高松市長 大西秀人 殿

高松市議会公明党議員会

会 長	竹内俊彦
幹事長	大山高子
政務調査会長	中村伸一
	春田敬司
	田井久留美
	中村秀三

新型コロナウイルスの影響から市民を守るための要望(第2回)

新型コロナウイルスから市民を守るため以下の通り4テーマについて要望します。

今回は、様々な取り組みが行われている中で、あえて時間を取って頂くのではなく、文章として提出することが最善と考えました。

ご検討のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

<要望事項>

1. 特別定額給付金 10 万円の迅速な支給開始

迅速な給付の実施

・早い自治体は、5月7日から給付できる準備を進めている(宮崎県都城市)。一日も早く特別給付を実施すること。

☆他市の事例：新たに担当部署を作り 4 月 2 7 日から市のウェブサイトで申請に必要な書類をダウンロードできるようにし、市からの書類郵送を待たずに申請できるようにした。国からの補助金が入る前に市の基金で一時的に立て替えて、早ければ 5 月 1 5 日ごろに振り込みを始める構え(千葉県市川市)。

すべての人にもれなく給付

・視覚障がい者や外国人の方々のため「音声コード」を活用すること。

2. 高松市特別対策の拡充

国の持続化給付金や県の休業要請・協力金などの制度から漏れている事業者への支援を盛り込むこと。

☆他市の事例：売上高30%削減した事業者支援(東かがわ市)、全世帯にテイクアウト商品券を配布(松坂市)。

3. 医療崩壊を起こさせない対策

妊婦のPCR検査

- ・検査体制の強化を急ぐと共に、福井県のように、妊婦のPCR検査については、医師の判断で症状がある無いに関わらず実施すること。

マスク寄付の窓口設置

- ・政府が配布する布マスクや手作りマスクを困っている人に使って欲しいなどの要望に応え、関係機関と連携し、市役所本庁舎や総合センターにマスク寄付の受付ボックスを設置するなどの支援を検討すること。

医療従事者などに感謝の気持ちを届ける取り組み

- ・医療従事者など感染リスクが極めて高い職場で働く人々や社会インフラ、生活インフラを支えている関係者らに、感謝と応援の気持ちをあらわす取り組みを市職員などから行い、市民へも広げる運動を行うこと。

4. 相談体制・情報発信の強化

DV・児童虐待の対策強化

- ・虐待についての相談をSNS でも可能なようにするなど対策を強化すること。

- ・今回の一律10万円給付が DV被害者へも必ず行きわたるように丁寧に対応すること。

障がい者への合理的配慮の充実を

- ・聴覚障がい者のためにメールやファクスでも相談できるようにするなど、新型コロナウイルス関連の情報について障がいの状況に応じた周知と相談体制の充実を図ること。